

第3学年 総合的な学習の時間（ウミネコ学習）学習指導案

日 時 平成16年10月15日（金）6校時
児 童 3年1組 男12名 女9名 計21名
指導者 金澤 充枝
場 所 3年1組教室・ホール

- 1 単元名 ソーラン節をおどろう
- 2 単元について

(1) 単元設定の理由

恵みをもたらし、生活を支える美しく豊かな海と周りを取り囲む山々。このすばらしい自然環境の中で、児童はのびのびと育っている。しかし、子どもの生活圏の中で、この自然と地域の特徴は至極当然のことであり、その恩恵を十分に理解するには至っていない。また、当然のことながら、保護者が漁業に携わっている子どももいるが、子どもたち自身が海や海の仕事に触れたり理解を深めたりという機会は、そう多くはないのが現状である。

子どもたちは、これまでに1年生の遠足や2年生の生活科の中で、磯探検をしたり、砂浜で遊んだりして、船越の海に親しんできた。3年生の1学期のウミネコ学習では、船越の海に住む生き物について調べることで、自然の豊かさについて感じ取ることができた。その上に、さらに海にまつわる民謡踊りに積極的にかかわることで、自然を背景とした地域への理解を深め、人々との交流の中から地域への愛着をより感じることができるようにとの願いから、本単元を設定した。

(2) 児童の実態

子どもたちは、全体的に明るく元気で、率直に思ったことを言い合える雰囲気がある。集中力も育ってきており、さらに話をじっくり聞けるように指導を重ねている。1年生から3年生まで、子どもたちは運動会の表現活動としてわらび座ソーラン節の練習をし、過去3回運動会で発表してきた。すでに覚え踊り慣れた踊りであったが、その実態を生かし主体的に取り組ませられたかという点において、教師側に反省点が残る。この反省点をふまえ、改めてソーラン節を踊るという意義付けをしっかりと行い、子どもたちが意欲的に活動に取り組み続けられるようにしたい。

(3) 活動の構想

本単元では、ソーラン節を踊ることを通して、他人の役に立つこと、ためになることを考え努力し実行する。それによって、地域の人々との交流の中から、地域に対する愛着を深め自分に自信をもたせられるようにしていきたい。そして、他人の喜びを自分の喜びにできること、仲間と心をつなげてがんばることのすばらしさを味わわせたい。各段階においては次のような支援をする。

「つかむ」段階では、運動会の反省をふまえて改めてソーラン節と向き合わせ、踊り手としての先輩である上級生にインタビューして、どんな願いで踊ったのかを尋ねたり、踊りの動作の意味を考えたりなどして、ソーラン節への理解を深めさせたい。

「追求する」段階では、ストリートライブ活動の準備やライブ活動を中心に展開し、船越の街の様々な場所で活動する。ライブ活動の準備としては、広報活動とステージ企画に取り組ませる。堂々と踊りを披露できるように、練習も計画させる。日時・場所調整などの渉外・依頼については、必要に応じて教師が行う場合もある。「追求する」段階での振り返りは、ライブ活動と実際のステージについて、課題に迫ることができたかを考える。満足感をもって振り返ることができた場合だけでなく、不十分だったと思われることに気づくことも、その子の成長の一過程ととらえたい。

「表す・広げる」段階では、今回は一人ひとりが作文を書くことでまとめさせ、じっくりと自分の歩みや努力を見つめさせる。また、単元全体の振り返りでは、自分や友だちのがんばりを思い起こすことを通して、自分自身の成長や友だちのよさに気づくことができるようにする。そのために、写真やビデオなどの視覚的な記録をできるだけ残しておくようにする。そして、振り返りによって、自分のがんばりに自信を持ち、次への学習の意欲をもたせられるようにする。最後に、お世話になった人や思いを伝えたい人に手紙を書くことで、達成感を十分に味わわせたい。

他教科との関連としては、6年生やライブを見てくださった方にインタビューする際、国語科での学習を生かしたインタビューの実践の場とさせたい。また、案内状やポスターを作る場合も、1学期の「しょうたいじょうを作ろう」の学習を思い起こして取り組むようにさせたい。

3 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・ ストリートライブ、地域で開催される行事などに進んで参加し、多くの人と交わり、楽しませたり元気づけたりしようと取り組むことができる。

【思考・判断】

- ・ ストリートライブを通して、どのようにすれば地域の人たちを喜ばせることができるか考える。

【技能・表現】

- ・ 地域の人たちに喜ばれるような表現の仕方や場の設定について、自分なりの課題を持って取り組むことができる。
- ・ ライブでは、堂々と踊ることができる。

【知識・理解】

- ・ ソーラン節と地域の主な産業である漁業との関わりをつかむ。

4 単元の指導計画（33時間）

段階	活動内容	教師の支援	評価規準（評価方法） 【関】関心・意欲・態度 【思】思考・判断 【技】技能・表現 【知】知識・理解	身につけたい力 （船小6力）
つかむ (14)	<p>1 オリエンテーション1 ・運動会の発表に向けて、意欲を持つ。</p> <p>2 わらび座ソーランを踊ろう。7 ・1、2、3年生が合同で踊る。(6) ・リーダーと班のめあてを決める。(1) ※ 運動会で踊る。</p> <p>3 これまでのソーラン節の活動を振り返り、新たな課題を持つ。4 《全体課題》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地域の人たちを元気にするような「ヤーレンソーラン元気隊4」のライブ活動を成功させよう。</p> </div> <p>・「元気隊」初代の6年生に自分たちへのアドバイスなどについてインタビューする。(1) ・ソーラン節の踊り、一つ一つの意味を確かめ、歌に込められた願いを知る。(2)</p> <p>4 ストリートライブ活動の計画を立て、活動の見通しを持つ。2 ・グループを作り役割分担をする。 ① 広報 ② ステージ企画・渉外・依頼</p>	<p>・本校の「ヤーレンソーラン元気隊」のこれまでの活動を紹介しながら、何を目標としてこの学習に取り組んでいくのかをつかませ、課題を設定させる。</p> <p>・あらかじめ6年生には、インタビューの依頼をしておく。</p> <p>・キッズ・ソーランのビデオを参考にさせる。 ・インターネットで、ソーラン節の発祥の地について調べる。</p> <p>・希望する役割によってグループを作るが、一つのグループが4名程度になるようにさらにグループ分けをする。</p>	<p>【関】運動会のソーラン節の発表に向けて意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【関】学習素材と進んで関わり、課題を設定しようとしている。 (見取り・聞き取り)</p> <p>【知】ソーラン節について調べ、新しい知識を得ることができる。 (学習カード)</p>	<p>課題設定能力</p> <p>総合された知識</p>

<p style="text-align: center;">追 求 す る (13)</p>	<p>5 ライブ活動の準備をする。 ・・・・・・・・・・8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロックソーラン節の練習をする。(1) ・ライブ活動の準備をする。(4) <p>① 広報 ・ちらし、ポスター、案内状</p> <p>② ステージ企画・渉外・依頼 ・隊形、せりふ、準備物インタビュー、日時、場所調整</p> <p>・ライブ活動に向けてそれぞれの準備活動について情報交換する。(1) 《本時》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2組合同でリハーサルをする。(2) <p>6 いろいろな場所で踊る。 ・・・・・・・・・・6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協前 (2) ・船越駅前 (2) <p>※鯨館(山田町産業祭り会場)</p> <p>7 振り返り・・・・・・・・・・1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備段階において、めあてを達成できたか。 ・課題に迫るライブ活動ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちらし、ポスターについては、参考になるものを用意する。 ・隊形は、アレンジしてオリジナルの動きを工夫してみるようアドバイスする。 ・せりふとして、当日の進行やインタビューの言葉を考えさせる。 ・日時、場所調整については事前に担当が連絡をとっておく。 ・ライブ活動についてのめあてをもたせ、意欲的に取り組めるようにする。 ・1組→2組→全体というステージ構成で取り組ませそれぞれの工夫と一体感とを大切にさせる。 ・満足感をもって振り返ることができた場合だけでなく、不十分だったという反省も次につながる価値あるものととらえさせる。 	<p>【関】 学習計画に沿って、解決に向けてねばり強く取り組もうとしている。 (見取り・聞き取り、学習カード)</p> <p>【技】 目的にあった活動ができる。 (ちらし、ポスター、案内状) (ステージ企画書、電話のかけ方)</p> <p>【思】 それぞれの準備活動について交流し合い、ライブ活動の進め方について考えることができる。 (見取り、学習カード)</p> <p>【技】 船越の大漁と人々の健康を願って、元気に力強く踊ることができる。(観察)</p> <p>【思】 「追求する」活動を振り返り、準備とライブ活動で、課題に迫る活動ができたか考える。 (見取り、学習カード)</p>	<p>問題解決能力</p> <p>表現・創造力</p> <p>思考・評価力</p> <p>表現・創造力</p> <p>思考・評価力</p>
<p style="text-align: center;">表 す ・ 広 げ る (6)</p>	<p>8 ソーラン節の活動をまとめよう。・・・・・・・・・・3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返って作文を書く。(2) ・作文を発表し合う。(1) <p>9 単元全体を振り返る。 ・・・・・・・・・・3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラン節の活動を通して自分のどんなところが成長したか振り返る。(1) ・お世話になった人や思いを伝えたい人に、手紙を書く。(2) <p>※ 三世代交流会で踊る。 (冬休み) (希望者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想を中心にまとめさせる。 ・友だちのがんばりにも、気づかせる。 ・映像などの記録を見せたり依頼して集めておいた家庭へのアンケート結果などを紹介したりして活動を思い起こさせ振り返らせる。 	<p>【技】 収集した情報や新たな経験について振り返り、自分の思いをまとめることができる。 (作文、手紙)</p> <p>【思】 学んだことや身につけた力を自分の成長ととらえたり、友だちの努力を認めたりすることができる。 (見取り、学習カード)</p>	<p>表現・創造力</p> <p>思考・評価力 自信・成長力</p>

5 本時のねらい

(1) 目標

【思考・判断】

- ・ ライブ活動のために取り組んできたそれぞれの準備について交流し合い、ライブ活動に向けてめあてをもつことができる。

(2) 展開

段階	活動内容	教師の支援と評価	備考
つかむ (5)	1 前時までの学習をふり返る。 2 本時の課題を確認する。 ライブ活動の準備を発表し合い、ライブのめあてを決めよう。	・それぞれのグループでの準備活動が終わっていることを確認する。 ・いよいよライブ活動を行うための最終準備であることをとらえさせる。	
追求する (35)	3 それぞれのグループで進めてきた準備活動について発表する。 (1) 広報 ・ポスター、ちらしについて (2) ステージ企画・渉外・依頼 ・せりふについて ・踊るときの留意点について (3) 踊りについて ・実際に隊形を作って踊ってみる。 4 ライブ活動に向けて、自分のめあてをもつ。	・聞き手にわかりやすいような発表の仕方ですさせる。 ・友達の発表に対して、自分の考えを持たせる。 ・実際に作成した、ポスターやちらしを見せながら、工夫した点などについて発表させる。 ・感想を出し合わせる。 ・せりふを紹介させる。 ・踊るとき気をつけたいことについて述べさせる。 ・よかったところや、がんばっていた友だちを紹介させる。 ・実際にライブ活動での自分のめあてを考え意欲を高めさせる。 A：他のグループの活動に対して意見などを出し、ライブ活動に向けて自分のめあてをもつことができる。 B：ライブ活動の進め方を理解し自分のめあてをもつことができる。 ※ 自分のめあてをもてないでいる児童には、全体のめあてに立ち返らせ踊るときの留意点などについてアドバイスして考えさせる。	・学習カード ・ポスター ・ちらし ・せりふの紙板書 ・ソーラン節のテープ ・学習カード
まとめる (5)	5 本時を振り返りまとめる。 ・学習カードの内容を紹介する。 6 次時の予告をする。 ・来週は、ライブのリハーサルをすることを知らせる。	・準備活動のまとめとなるような、適切な言葉かけを行う。 ・来週は、2組と一緒にライブ活動のリハーサルをすることを知らせる。	

(3) 評価

【思考・判断】

- ・ ライブ活動のために取り組んできたそれぞれの準備について交流し合い、ライブ活動に向けてめあてをもつことができたか。